

令和元年度第2回学校関係者評価委員会 記録

日 時：令和元年 10 月 26 日（土）10:00～12:00

※学校祭への参加、資料郵送

場 所：名古屋芸術大学保育専門学校 校内、正面玄関

委 員：水越 省三（同窓会代表：葵名和幼稚園理事長）

武石 協子（企業代表：たきこ幼児園長）

大畑 領治（地域代表：民生・児童委員）

松尾 ゆか（保護者代表：後援会長）

杉浦宏幸(校長)、 坂部良二(副校長)、 木村節治(保育科長)、

加藤由美(教学主任)

1 学校祭への意見・感想等

- 体育館で幼児のダンス、その親御さん、近所の方を巻き込んでの学校、コラボ大成功！です。
- 学校祭を一人ひとりが精一杯楽しみながら頑張っている姿が良く感じられた。一人一冊の本を読み、カードに書いて喫茶室、休憩室に貼ってあったが、もう少し大きいほうがよかった。
- 最後に先生が生徒さん一人ひとりの名前を覚えていてくださり、勉強だけでなく体調などにも気にかけて声をかけてくださり、この学校に来てよかった、という生徒さんの声を聞きました。
- 滝子幼稚園の実習も、子どもの成長がわかり、感動して良かったという声を聞きました。
- 生徒さんの笑顔が一番！
- 休憩室も用意されており、施設がうまく活用されていることに感心した。
- キャンパス内の園児だけでなく、せっかくの機会なので広く地域の子どもたちも参加できるといい。

2 資料に関する意見等

- 教育理念や目的などは分かりやすく示されているが、それらをどのように具体的な活動につなげていくかということが大切なことである。
- 学生による授業評価を実施し、授業改革に活かしているのは良いことである。評価の結果をしっかりと受け止めてほしい。
- 就職指導が計画的に行われていることがうかがわれた。
- まだ、それほど地域との関わりが感じられない。外部の人を学校に招くだけでなく、学生が地域へ出かけていくように取組もあるとよい。

以上